＜指導案＞

２　指導案例＜２＞

「かんなの刃の調整を行い，薄い削りくずが出るようにかんながけをしよう」（本時５/７時間目）

1. 本時の目標

・刃の調整を繰り返し，最適な刃先の出になるように取り組んでいる。　　（関心・意欲・態度）

　　・刃の調整をていねいに行い，材料の表面を滑らかにして，薄い削りくずを出すことができる。

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　（技能）

1. 準備・資料

・教師：かんな，げんのう，さしがね，ワークシート，USB顕微鏡，プロジェクタ

　　・生徒：教科書

1. 学習過程

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 段階 | 学習活動 | 指導上の留意点　☆評価の観点 |
| つかむ５分 | １　前時を振り返る。２　前時の感想を発表する。 | ○かんながけを振り返らせる。（刃先の出の調整方法，裏金の調整方法）○最初にグループ内で感想を共有させ，その後に発表するように促す。☆かんながけを行う上での留意点を振り返ることができたか。　　　　　　　　（授業の様子）【関】 |
| 広げる15分 | ３　本時の目標を確認する。自分で刃先の出を調整し，薄い削りくずが出るように木材をきれいに削ろう。４　教師の示範を見て，かんながけのポイントを再確認する。 |  |
| 深める20分 | ５　かんなの刃先の出を調整する。６　ペアで相互評価しながら，作業をする。 | ○かんなの刃先の出は髪の毛１本分（0.05～0.1㎜）であることを伝える。○ワークシートの観点に沿って話し合いながら作業を進め，切削時の姿勢や削りくずを観察し，互いにアドバイスし合うことを促す。○ペアの人に自分の作業を見てもらい，アドバイスをワークシートに書いてもらうように促す。〇１回目の作業でペアの人にもらったアドバイスを生かして２回目の作業を行わせる。☆かんなを正しく使うことができたか。（作業の様子，ワークシート）【技】 |
| 活用する10分 | ７　削りくずをワークシートに貼り付け，薄く削れたかを評価する。８　本時のまとめをする。 | ○ワークシートに削りくずを貼り付け，評価するように促す。○ワークシートに記入させ，本時を振り返らせる。☆かんながけを評価することができたか。　　　　　　　　　　　　　（ワークシート）【技】 |

1. 評価

　　・かんながけを行う上で，かんなの刃の調整ができたか。　　　　　　　　　（授業の様子から）

　　・正しいかんながけをすることができたか。　　　　　　　　（作業の様子，ワークシートから）